

藤沢市税務地図情報システム機能要件

	機 能	概 要
1. セキュリティ機能		
1	ユーザー認証	ユーザーとパスワードによりシステム利用者を認証できること。
2	パスワード変更	ユーザーがパスワードを変更できること。
3	パスワードポリシー管理	パスワードのポリシーを設定できること。(文字数・アルファベットの大文字及び小文字・数字・記号の複合等)
4	利用権限	レイヤ、データベース、利用機能をグループ又はユーザー単位で制限できること。
5	利用記録	アクセスしたPC、IPアドレス、ユーザー、日時、利用機能、検索履歴、操作、印刷内容等を記録できること。権限を持ったユーザーで、過去7年間の利用記録を参照できること。
6	暗号化	データベース（台帳及び評価情報、個人情報等）は暗号化され、外部から簡単に不正アクセスができないこと。
7	データレス	ユーザー操作によって明示的にダウンロードしたファイルを除き、ユーザーの端末上に意図しないデータを残さないこと。
8	一定時間経過自動ログオフ	一定時間操作がなかった場合、自動的にログオフができること。
2. 検索機能		
1	範囲検索	市全図表示から任意に括った範囲の地図を表示できること。
2	索引図検索	1 / 1, 000図郭の選択により、図郭範囲の地図を表示できること。
3	所在検索	字、地番、枝番等で絞込又は直接指定で、地図又は台帳を表示できること。
4	棟番号検索	先頭一致、部分一致による検索結果から、家屋図又は家屋台帳を表示できること。
5	名寄せ検索	宛名番号、宛名名称、カナによる検索結果から地図又は台帳を表示できること。所有する土地及び家屋の一覧から選択表示できること。
6	地価公示・地価調査検索	一覧からの選択の他、所在による絞込結果より、地図又は台帳を表示できること。
7	状類検索	一覧からの選択の他、用途による絞込結果より、地図を表示できること。
8	標準宅地検索	一覧からの選択の他、所在又は用途による絞込結果より、地図又は台帳を表示できること。
9	路線検索	用途による絞込の他、先頭一致、部分一致による検索結果から、地図又は台帳を表示できること。
10	目標物検索	目標物を指定して、対象地の任意縮尺の地図を表示できること。

	機 能	概 要
11	履歴再表示	前回表示の地図画面を表示できること。
12	検索項目の追加	字の追加等の項目の内容を管理（追加・編集・削除）できること。
13	処理番号検索	処理番号による土地、家屋の検索ができること。
14	掲示板検索	入力した記事のタイトル、内容を検索の対象として検索できること。
15	Excelとの連携	専用フォーマットのExcelに入力された地番及び路線番号から、対応する地図画面へ遷移できること。
3. 地図操作機能		
1	レイヤ表示	地物の表示・非表示がレイヤ単位で操作でき、地番図、家屋図等のグループレイヤ単位でも表示・非表示ができること。
2	レイヤラベル表示	レイヤの属性を指定してカテゴリ、数値分類等の条件で図上にラベル又は色塗り主題図を表示できること。
3	レイヤスタイルの変更	レイヤごとに線種、塗りつぶし色等の表現（スタイル）を設定・変更できること。
4	レイヤの管理	レイヤの追加等の管理（追加・編集・削除）ができること。
5	レイヤ設定の保存	ユーザー単位に、起動時に表示されるレイヤセットを登録できること。
6	定率拡大縮小	図上の縮尺を一定割合で拡大・縮小表示ができること。
7	マウスホイールによる拡大・縮小	図上でマウス操作により拡大・縮小表示ができること。
8	縮尺指定	図上の縮尺を任意の縮尺に指定して表示できること。
9	座標指定・追跡	任意の座標値を入力して、入力した座標位置を中心に図上で表示でき、マウスカーソルにより座標値を追跡表示できること。
10	スクロール移動	図上でマウス操作により全方向にスクロールできること。
11	多画面表示	2～4つの異なる主題図を画面上で並べて表示ができ、主題図を同期して拡大・縮小・移動ができること。
12	索引図表示	メインの画面とは別に全体図（索引図）を表示し、メイン地図画面の表示領域を示すことができること。
13	全域表示	地図の全域を表示できること。
14	主題図作成	予め用意する又はユーザーの操作で、属性による色塗りやテキスト表示を作成及び表示できること。
15	航空写真透過	航空写真等の画像を地物に重ねて透過表示ができること。
16	図形入力	ユーザーの操作で線、面、文字及び座標値を入力して作図した図形を保存できること。
17	ホームポジション	システム2回目以降起動時に前回終了した位置を復元指定できること。

	機 能	概 要
18	回転	指定した角度や地図上でのマウス操作により、自由に地図を回転表示できること。
19	簡易検索	地図上で地番、棟番号、路線番号検索を行い、検索した地番位置に移動できること。
4. 地図計測機能		
1	距離計測	地図上でマウスにより指定した複数点間を指定して距離計測することができること。
2	面積計測	地図上でマウスにより指定した複数点間を指定して面積計測することができること。
3	図形選択	地物を選択することでその面積を計測することができること。
5. 地図作図・編集機能		
1	異動筆図形登録	公共座標、任意座標を入力し筆形状を追加でき画地計測ができること。
2	異動筆図形編集	地番図上の異動筆に対して移動、分筆、合筆、評価分割線の入力等ができ、固定資産評価基準等に則った画地計測ができること。
3	レイヤ作図	任意の図形を作図ができレイヤに保存ができること。また作図したレイヤの画地計測ができること。
4	ファイル作図	任意の図形を作図ができファイルに保存ができること。また保存したファイルから読み込むことができること。
5	掲示板	地図上で記事（シンボル）の入力・削除ができること。また地図上の記事（シンボル）をクリックしてツールチップ（吹き出し）として属性情報の一部を参照できること。
6. 台帳参照及び備考又は沿革等登録編集機能		
1	属性参照	土地、家屋、状況類似地域、標準宅地、路線、その他の属性情報を台帳として表示及び印刷できること。 なお、家屋のうち、区分所有建物については、マンションのカナ名をキーとして、地図上に当該カナを表示できる。（他の一般家屋は棟番号をキーとする。）当該カナを押下すると、区分された後の各部屋の課税台帳が展開することができること。
2	台帳表示	所在地検索等により表示した地図と連携して台帳情報が自動で表示できること。
3	属性抽出	属性情報の条件を設定して抽出できること。抽出結果はCSV形式等でエクスポートができること。
4	土地備考情報	建築確認、農地転用、問合せ対応等の土地に係るあらゆる情報について記事を追加・編集し表示ができる。また、画像データも登録・削除できること。年度に関係なく過年度全ての当該土地に関する記事を参照できること。
5	土地沿革台帳	土地の沿革を管理し、窓口での問合せ対応に備えること。年度に関係なく過年度全ての当該土地に関する沿革を参照できること。
6	家屋沿革台帳	家屋の沿革を管理し、窓口での問合せ対応に備えること。年度に関係なく過年度全ての当該家屋に関する沿革を参照できること。
7	課税台帳表示	基幹系システムから出力した税相当額を含む土地（補充）課税台帳データ及び家屋（補充）課税台帳データを取り込み、指定のレイアウトで表示・印刷ができること。

	機 能	概 要
7. 路線価算定機能		
1	路線検索	用途地区、状況類似地域、路線番号、比準表分類等の属性情報ごとに検索できること。
2	属性参照	路線の要因、比準率等についての属性情報を台帳として表示及び印刷ができること。また、C S V等で出力ができること。
3	路線価格算定機能	路線の要因、比準率等についての属性情報を編集し、最寄の駅までの距離を計測することで、路線価算定のシミュレーションができること。また、状況類似地域単位など、複数路線を一括で算定することができること。
4	路線図更新	地図上に路線及びネットワーク図の追加や形状修正を職員による操作で任意にできること。
5	エラーチェック	路線の新規作成、削除、編集をする際に各種エラーをチェックし、アラート文が出せること。
8. 登記情報管理機能		
1	登記済通知書登録	法務局の登記済通知書の電子データ等を取り込むことができること。
2	登記済通知書の管理	過年度のデータを含む登記済通知書を検索・表示・印刷することができ、一覧をC S V等で出力できること。また、登記済通知書に備考欄を設け、編集できること。
3	登記全件要約書表示	法務局の登記全件要約書の電子データを取り込み、土地・家屋の台帳や地図画面上のスポット情報から当該物件の登記全件要約書を表示できること。
4	登記履歴管理	異動データ登録で取り込んだ登記済通知書の電子データを元に、土地及び家屋の沿革台帳に登記の情報を登録できること。
9. 異動更新機能		
1	異動データ登録	取り込んだ法務局の登記済通知書の電子データを元に、異動情報を作成できること。
2	異動データ入力支援	取り込んだ法務局の登記済通知書の電子データを元に、一定のコード化処理(異動事由のコード変換等)を自動で行えること。

	機 能	概 要
3	宛名番号特定	取り込んだ法務局の登記済通知書の電子データから、登記名義人の名称・住所・持分等を抽出し、システム内の宛名データベースと照合し、該当の宛名番号を特定、自動で登録ができること。また、複数の候補がある場合は、その候補から選択に必要とする宛名属性データ(住民種別等)とともに表示し、選択できること。
4	異動インポート	異動データ登録で取り込んだデータを用い、基幹業務システムへ転送する対象データを選択する。その後、土地に関しては、土地異動更新用の台帳を作成できること。家屋に関しては、登録した権利登記の異動データを基幹業務システムの家屋(補充)課税台帳を更新できる形式で出力できること。
5	土地台帳更新	土地異動更新用台帳を用い、表示又は権利に係る登記の異動情報を基幹業務システムへ送る内容へ編集できること。(画地情報の編集が必要な場合は、評価フロー処理と連動する。)
6	土地台帳履歴	異動前の土地台帳を履歴台帳として参照できること。
10. 土地評価情報更及び評価支援新機能		
1	評価フロー	フローチャート形式の操作性で市街化調整区域等の選択肢により画面が遷移し、土地の異動に係る画地計測や、補正の追加ができること。選択した項目によって次の選択できる項目を制限できること。
2	評価フロー支援	評価フローにおいて、路線価評価を行う地目の場合は、自動で評価対象画地の正面・側方・二方路線を取得し、間口・奥行距離の測定ができること。
3	画地取得支援	測量図等の座標値を用いて土地の形状を仮作成でき、作成した土地形状で画地計測ができること。 ※作成土地のみで画地を構成する場合のみ(同一画地とする周辺土地と接合が付かない場合は、定期異動更新後に画地を計測する)
4	家屋外形図表示	家屋評価システムで作成した外周又は屋根形状を用い、家屋図として当該レイヤへ追加ができること。また、基幹業務システムより滅失情報を得られる場合は、シンボル等を用い滅失家屋を判別表示できること。
11. エラーチェック機能		
1	入力チェック	台帳修正や評価情報の変更に際し、各種エラーをチェックできること。項目に応じて入力時にエラーとするものや保存時にエラーとするもの等を適宜、設定が行えること。
2	異動情報取り込みチェック	異動情報の登録の際に、土地の合併地番や家屋番号の桁数オーバー等で正常に取り込めなかったものについてエラーチェックができること。また、年度ごとに、又は現年度のみのいずれかでエラーリストを管理できること。
12. 基幹業務システムとの連携機能		
1	ホスト転送	エラーチェック後の土地台帳に係る異動情報又は評価済情報を、基幹業務システムへ送ることができること。
2	登記済通知書変換	法務局からの土地及び家屋登記済通知書電子データを変換し、基幹業務システムの登記履歴情報を更新できる形式で出力できること。

	機 能	概 要
3	台帳更新	基幹業務システムから出力した、土地課税（補充）台帳や計算過程に係る情報をインポートできること。既存台帳を更新する際は、更新前台帳を履歴管理できること。
4	宛名更新	基幹業務システムで登録又は変更した宛名情報をインポートできること。インポート方法は手動による他、夜間に自動更新できること。更新は全件又は差分のどちらでもできること。
13. 印刷機能		
1	印刷	表示されている地図をプレビューせずに印刷できること。また、印刷イメージをPDF化できること。
2	印刷プレビュー	印刷イメージをプレビューでき、プレビュー表示しながら地図を移動、拡大縮小できること。
3	縮尺印刷	任意の縮尺で印刷ができること。
4	連続印刷	印刷箇所を複数指定でき、連続して印刷ができる。また、印刷イメージをPDF化できること。
5	分割印刷	設定範囲を印刷サイズ指定により、分割して印刷できる。また、印刷イメージをPDF化できること。
6	図郭指定印刷	図郭を指定して印刷できること。また、印刷イメージをPDF化できること。
7	印刷レイアウトの変更	印刷レイアウト（レイヤ、配置等）の設定ができること。
8	業務選択印刷	設定済みの情報により、レイヤ、縮尺、整飾を固定して印刷できる。また、印刷イメージをPDF化できること。
9	QRコード	GoogleMapへのリンクQRコードを配置して印刷ができること。
14. ファイリング機能		
1	登録・削除・修正	スキャニング画像の他、登録可能な複数のファイルをユーザーの操作により登録又は削除できること。また、ファイリング済みデータのキーの付加を職員が行うことができること。
2	ファイル検索	ファイリング済データを、所在やその他のキー又は地図から検索し表示できること。
3	ファイル印刷	ファイリング済データを、関連付けたソフトウェアにより印刷することができること。
15. メンテナンス機能		
1	ユーザー更新	権限を持ったユーザーにより、ユーザーの追加及び、パスワードの追加又は変更ができること。
2	利用権限更新	権限を持ったユーザーにより、利用権限グループに所属するユーザーの追加又は変更ができること。
3	評価補正更新	基幹業務システムで補正項目の補正コードが追加された場合等に、システムの既存補正項目のコード及び係数の追加ができること。